

『入れ歯と感染症の関係』

近年、歯科医療においては、入れ歯用新素材をはじめさまざまな新技術が登場し、超精密な入れ歯が患者様に提供されています。

しかし、口腔内において入れ歯表面に付着する病原性細菌の影響による全身疾患の大問題が発生しています。

この問題を解決する「入れ歯の抗菌メンテナンスシステム」が必要です！

このシステムが『ピカパワーコーティング加工』®です！

* 抗菌性能の持続 (臭わない)

* 汚れにくい (清潔)

① 細菌のかたまり (バイオフィルム)

入れ歯を使用すると、入れ歯の表面に多種類の細菌が層をつくって強固に付着します。これをバイオフィルムといいます。

バイオフィルムは入れ歯だけでなくカテーテルなどの医療機器の感染症にも影響を与えています。^{1,2)}

② バイオフィルムの病原性

口腔内の細菌には、連鎖球菌や黄色ブドウ球菌、嫌気性菌、カンジダ菌などが検出されます。その種類は約500種です。

これらの細菌は義歯性口内炎をも引き起こします。また、口腔内から気管や肺に流れて肺炎や胃潰瘍などの感染症を引き起こします。特に肺炎は65歳以上の高齢者においては死亡原因の第一位となっています。老人性肺炎の多くは誤嚥性肺炎であるといわれています。さらに、細菌の毒性によって糖尿病の悪化や早産、骨粗鬆症などを引き起こすと報告されています。³⁾

③ 衛生面の確立の重要性

入れ歯に付着する「細菌のかたまり」によって全身の健康にも影響を与えます。

また、免疫力の低下している患者様に対する口腔ケアの重要性が問われています。

入れ歯の洗浄だけに頼ることより、入れ歯そのものの抗菌性能が必要であると思います。

抗菌持続性能を入れ歯に与える加工が『ピカパワーコーティング加工』®です。

そして、要介護者に対して口腔ケアによって食生活の改善や寝たきり患者様の ADL

(Activity of Daily Living) が向上したという事例が数多く報告されています。4)

参考文献

- 1.) 奥田克爾:最近口腔微生物学—バイオフィルム感染症とアレルギー疾患—,一世版,
東京, 2002
- 2.) 奥田克爾:口腔内バイオフィルム感染症への新たな挑戦. 歯界展望, 99(5):1061
~581,2001
- 3.) 宮田隆監訳:ペリオドンタルメディスン. 医歯薬出版, 2001
- 4.) 丸川征四郎編:ICUにおけるオーラルケア—口腔ケアのスタンダード確立をめし
て—. メディカ出版, 大阪,2000.